

科目名		担当教員	
社会心理学		吉田 綾乃	
科目コード	単位数	履修方法	配当年次
FC2514	2	RorSR (講義)	1年以上



※2017年度以前に入学した方が対象の科目です。2018年度以降に入学した方は履修登録できません。

※2018年度以降に入学した方は、「社会・集団・家族心理学 A (社会・集団心理学)」(科目コード：FC2540)を参照してください。

※本科目を履修登録する方も、下記記載の「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、「社会・集団・家族心理学 A (社会・集団心理学)」(科目コード：FC2540)を参照してください。

■レポート課題

1 単位め	あなたが関心をもっている社会問題をひとつ取り上げ、その原因と解決策について、社会心理学の観点から論じなさい。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

課題を進めるにあたり、以下の3つのポイントに沿って取り組んでください。

1. 具体的な社会問題の選定

最初に、自分が関心を持つ社会問題を具体的に選んでください。たとえば、「外国人に対する偏見と差別」「職場のハラスメント」「SNSにおける誹謗中傷」「地域コミュニティの希薄化」などが挙げられます。この際、自分がよく知っている、または興味を持って調べたいテーマを選ぶと、より深い考察が可能になります。

注意点として、社会問題を広く設定しすぎると原因や解決策の考察が浅くなる可能性があります。たとえば、「SNS 全体の問題」という大きなテーマではなく、「SNS における誹謗中傷が生じる心理的メカニズム」のように具体化することを意識してください。

2. 社会心理学の理論や用語を活用した原因分析

社会問題の原因を考察する際には、社会心理学の視点を取り入れることが重要です。授業で学んだ理論や専門用語を活用し、問題を客観的に分析してください。以下の例を参考に、自分のテーマに合った理論や概念を選びましょう。

偏見と差別：ステレオタイプ、スティグマ、内集団バイアス、社会的アイデンティティ、公正世界信念など

職場のハラスメント：同調行動、役割スキーマ、ナイーブ・リアリズム、集団規範など

SNS における誹謗中傷：社会的学習理論、拒絶体験、脱感作、集団極性化、不安定な自尊感情など

地域コミュニティの希薄化：接触仮説、利他的行動、社会的アイデンティティ、ソーシャルサポートなど

原因を分析する際、選んだ心理学の概念や理論は必ず文中で定義し、具体的にどのように当てはまるかを説明してください。たとえば、偏見の原因を分析する場合、「内集団バイアスとは、自分が属する集団を優越的に評価し、他集団を低く評価する傾向を指す（池上・遠藤, 2024）。この傾向が外国人への偏見を助長している」といった形で論じます。また、多くの概念や理論を取り上げすぎると表面的な考察にとどまりやすいので、使用する理論や概念は2つ程度に絞り、深く掘り下げることを心がけてください。

3. 解決策に第三者の意見を取り入れる

解決策を提案する際には、自分の意見を社会心理学の知見や具体的な事例で裏付けることが大切です。たとえば、偏見の解消がテーマであれば、「接触仮説」を基に、異なる集団間の交流を促進するプログラムを提案します。この際、例えばある地域で実施された成功事例や、学術論文での具体的な効果を引用すると説得力が増します。自分の意見を述べるだけでなく、関連する研究や成功事例を取り入れることで、解決策の具体性と信頼性が高まります。

レポートを書く際には、「①社会問題の概要」「②原因分析」「③解決策」という段落構成を意識してください。また、主張の根拠を明確にすることで、論文全体に説得力が生まれます。ぜひ、自分の興味を活かして意欲的に取り組んでください。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。